2025.05.21

PROG 成績と累計 GPA との相関関係分析結果

IR 室

標題の件、下記の通りご報告いたします。

記

1．PROG について

(1)本学では学生の社会人基礎力の把握とその成長を図るため、PROG テストを導入している。

(2)PROG はジェネリックスキルを測定するもので、内容は社会で役立つ「リテラシー（知識を活用して問題を解決する力)」と「コンピテンシー（人と自分にベストな状態をもたらそうとする力)」を計測する。

(3)PROG の結果は Level1～7 の数値で示され、数値が高い（Level が高い）ほど社会に出て活躍する力が発達していることがわかる。

(4)PROG は 2012 年 4 月にスタートし、日本全体で利用校は大学・短期大学合計で 554 校、受検者数は累計 180 万人（2024 年 3 月末時点　高専等も含めると 199 万人）に上っており、教育インフラとしてその地位を確立しており、十分な信頼性がある。

2．分析内容

(1)2025 年 3 月卒業生で、在学中に受検した PROG テストの結果と学生の卒業時成績との相関関係を検証した。

(2)具体的には、2023 年 4 月入学、2024 年度卒業の 152 名（留年者や未卒業生は除く）について、卒業目前の今年 1 月に受検した PROG テスト結果と各卒業生の累計 GPA（当該学生の在学中のトータルな成績を表す）を比較し、相関係数を求める方法を採用した。

(3) PROG の受検者数は、昨年度はゼミの先生方の積極的な勧奨により、卒業生全員が受検していた。今年度は残念ながら 19 名が卒業目前のテストを受検しておらず、貴重な機会を逃している。

PROG は、学生が社会に出て求められる汎用的技能（ジェネリックスキル）を測定する有効なツールであり、受検することは学生にとってメリットが大きい。次年度以降は卒業生全員が受検するよう、積極的な勧奨をお願いしたい。

【相関係数】

相関係数とは、2 種類のデータの直線的な関係の強さを表す指標。－1 から 1 までの値をとる。1 に近いほど正の相関があり、-1 に近いほど負の相関がある、0 に近いほど相関がないことを意味する。

相関係数（r）	相関の強さ
$-1.0 \leq r \leq -0.7$	強い負の相関
$-0.7 \leq r \leq -0.4$	負の相関
$-0.4 \leq r \leq -0.2$	弱い負の相関
$-0.2 \leq r \leq 0.2$	ほとんど相関がない
$0.2 \leq r \leq 0.4$	弱い正の相関
$0.4 \leq r \leq 0.7$	正の相関
$0.7 \leq r \leq 1.0$	強い正の相関

3．分析結果（結論）

(1)リテラシーについては累計 GPA との相関係数が 0.34671 で、「弱い正の相関（リテラシーが高くなると累計 GPA もやや高くなる)」が認められた。従来と同様の「弱い正の相関」の結果になった。(注）別紙ご参照

リテラシーは広い意味で「読み、書き、そろばん」という基礎的な学力を測定する部分があり、一般的な学力のある学生が良い成績を取る傾向にあるとも言える。

(2)コンピテンシーについては累計 GPA との相関係数が-0.05903 で、従来と同様、ほとんど相関がないことが判明した。

（注）別紙ご参照

【詳細】

① リテラシーの同じ成績の学生をグループ化し、累計 GPA 平均値を表すと以下の表のとおり。リテラシー6 は 1 人しか居なかった。リテラシー5 と 4 のグループは明らかに成績上位。リテラシー2 のグループの成績は他のグループに比し、明らかに低位。

リテラシー	累計 GPA 平均値
6	2.78
5	2.66
4	2.62
3	2.40
2	2.16
1	2.35

（注）リテラシー6 は 1 名のみ

②①と同様に、コンピテンシーついても同じ成績の学生をグループ化し、累計 GPA 平均値を表すと以下の表のとおり。相関関係は無いと言える。

コンピテンシー	累計 GPA 平均値
7	2.35
6	2.42
5	2.33
4	2.41
3	2.36
2	2.44
1	2.43

4．意見

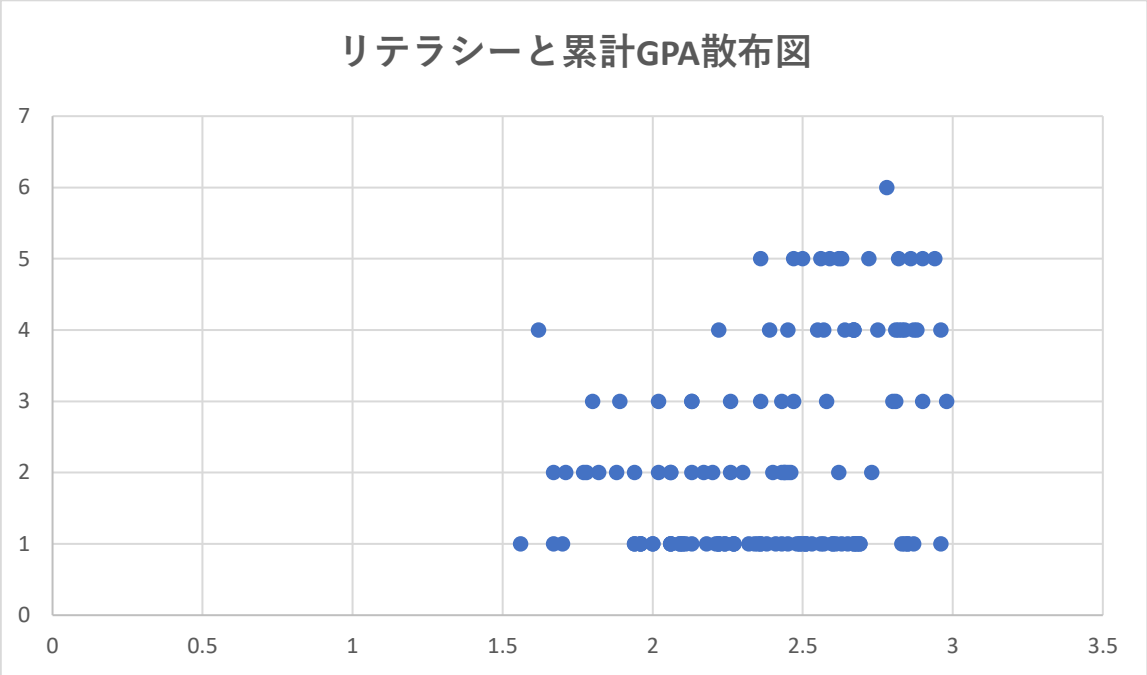
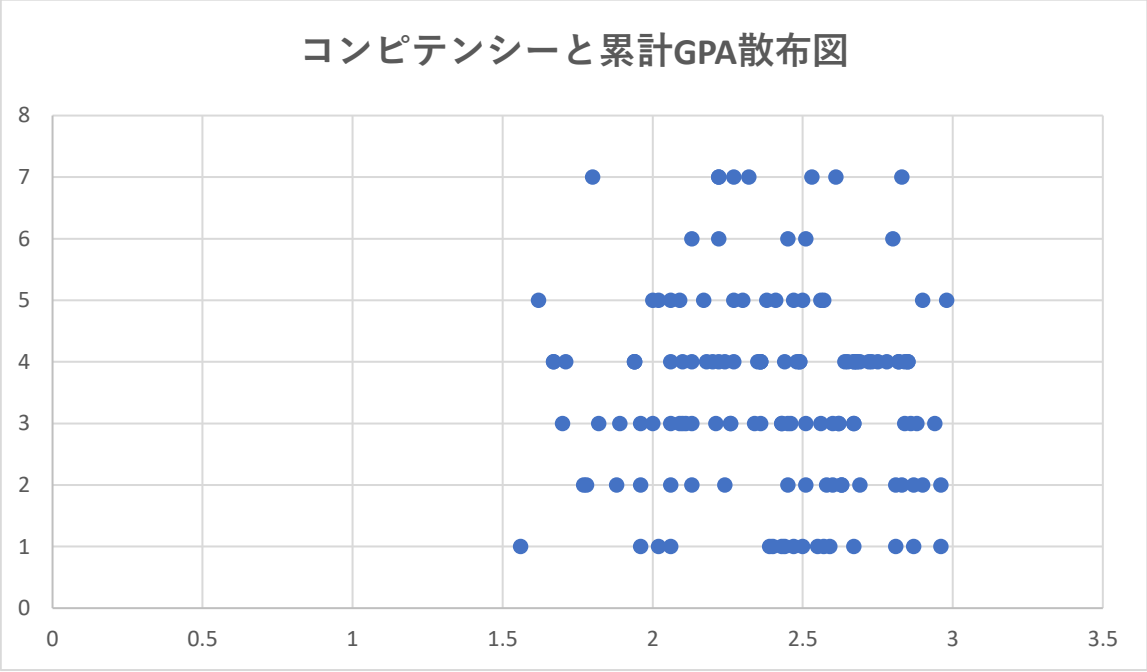
(1) PROG 結果と成績の比較は今回で 4 回目。
結果は従来同様、リテラシーについて成績との弱い正の相関が見られ、コンピテンシーについては、相関が見られないという結論であった。

(2) 既に述べたように、ＰＲＯＧは学生が社会に出て求められる汎用的技能を測定できる有力なツールである。今後も学生に対し、受検の勧奨を徹底願いたい。

以上

【別紙】　　リテラシーとコンピテンシーと累計GPA相関係数　　令和6年度卒業生

リテラシーと累計GPA　　相関係数　0.34671



コンピテンシーと累計GPA　　相関係数　-0.05903